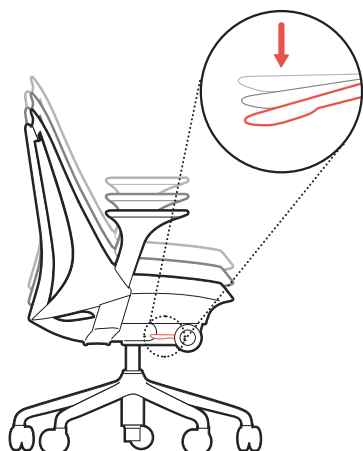




セイルチェア 調節方法

①



シートの高さ調節（ガス圧式）

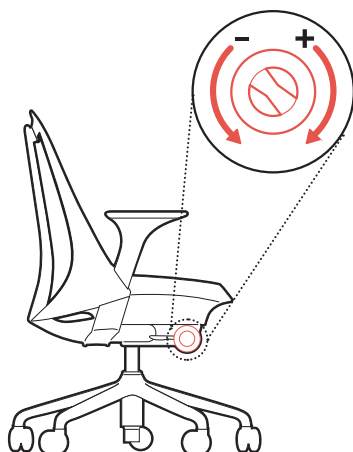
座面右下の平らなレバー

高くする：座面に座り、少しずつ腰を浮かしながらレバーを上げると、座面が高くなります。希望の高さになったらレバーを離します。

低くする：座面に座った状態でレバーを上げると座面が低くなります。希望の高さになったらレバーを離します。

*大腿部が床面と並行になる座面の高さが自然な着座姿勢となります。

②



リクライニングの硬さ調節

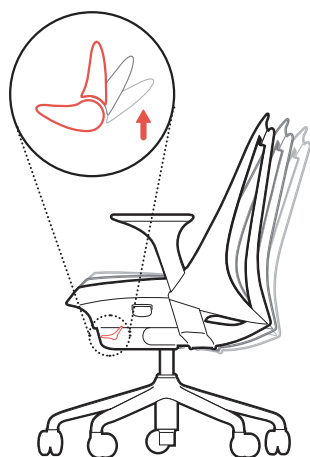
座面右下の丸いノブ

硬くする：③のリクライニングの範囲設定を解除し、ノブを座った状態で前方向に回します。

柔らかくする：③のリクライニングの範囲設定を解除し、ノブを座った状態で後ろ方向に回します。

*背もたれに軽く寄りかかると、背中を支えながら傾き、戻るときには背もたれが自然についてくる程度が適度な固さです。

③



リクライニングの範囲設定

座面左下2つのレバーの後ろのレバー

範囲を設定する：背もたれに寄りかからないで、レバーを前方向に押します。範囲設定したい位置を2段階の中から選びます。(レバーは設定解除の状態を含めて3箇所まで止めることができます。)

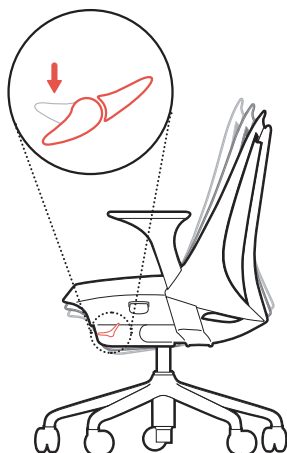
設定を解除する：背もたれに寄りかからないで、レバーを後ろ(レバーが止まる3箇所の内一番後ろ)に倒します。

*操作の方法を誤ると故障の原因となります。

*背もたれに寄りかかるのをやめると、背もたれの位置は元に戻ります。(固定ではありません。)



④



前傾チルト

座面左下2つのレバーの前のレバー

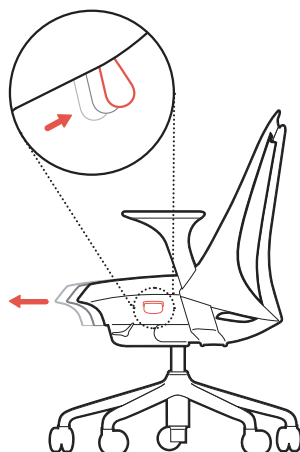
座面を前傾させる：③のリクライニングの範囲設定を解除し、背もたれに寄りかかって体重をかけ、軽くリクライニングさせます。そのままレバーを下げ、背もたれに寄りかかるのをやめます。やめると前傾します。

座面を通常位置に戻す：背もたれに寄りかかって体重をかけ、軽くリクライニングさせます。そのままレバーを上げ、背もたれに寄りかかるのをやめます。やめると前傾機能が解除されます。

*操作の方法を誤ると故障の原因となります。

*中して執務作業をするときに適します。座面を通常より少し高くして使います。

⑤



座面奥行の調節

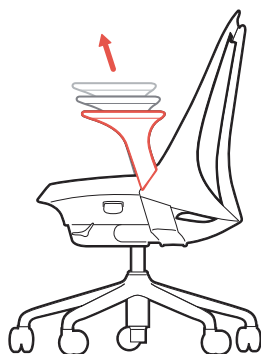
座面左下のレバー

伸ばす：座面に座った状態でレバーを左斜め上方向に引いて、大腿部を前にスライドさせます。

縮める：腰を浮かした状態でレバーを左斜め上方向に引いて、右手で座面を後ろにスライドさせます。

*膝の裏側が座面の前縁に圧迫されないように奥行を調節します。

⑥



アーム高さ調節

アームパッド

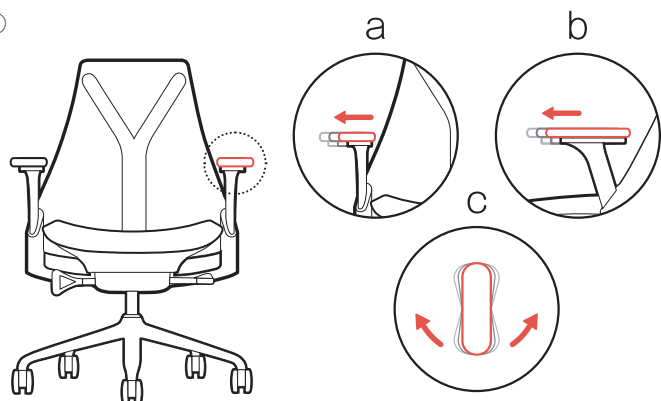
高くする：アームパッドを持ち、少しずつ引き上げます。希望の高さになったらアームを離します。

低くする：アームパッドを持ち、一番高い位置まで引き上げた後、一番下まで引き下げます。その後、アームパッドを持ち、少しずつ引き上げて、希望の高さになったらアームを離します。

*前腕をアームパッドに置いて、肩が上がらない高さに調節してください。



⑦



アーム幅、奥行、角度調節 (フルアジャスタブルアームのみ)

アームパッド

幅を広くする：アームパッドを掴みながら内側から外側へ押します。

幅を狭くする：アームパッドを掴みながら外側から内側へ押します。

奥行を広くする：アームパッドを掴みながら前にスライドさせます。

奥行を狭くする：アームパッドを掴みながら後ろにスライドさせます。

角度を調節する：アームパッドの先端部を掴み、水平方向に動かします。

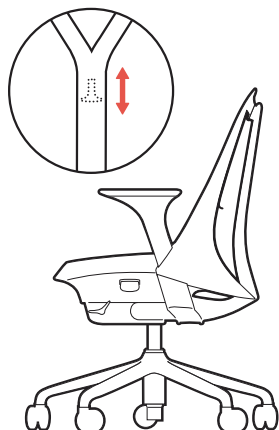
*腕が自然に体の脇にくるように調節してください。

*コンピュータ使用時、マウス操作をするときはアームパッドを外側に、キーボード操作をするときは内側にするなど、執務状況に応じて調節してください。

*アームパッドのみを掴み操作してください。

BACK VIEW

⑧



ランバーサポートの位置設定 (ランバーサポート付タイプのみ)

背もたれ後ろの中央にあるレバー

レバーの水平部を持ち上下にスライドさせます。

*背もたれ自体の形状が、骨盤をサポートし背骨が正しいS字のカーブを描くように設計されていますが、腰椎に合わせてランバーサポートの位置を設定できます。